

命を守る自転車教室

5月10日、3年生児童を対象にした自転車教室を実施しました。



子どもたちへの安全指導は、丹波市交通指導員の方7名と竹田駐在さんにお世話になりました。

今日は交通指導員の方より自転車の点検方法や交通ルールを守った乗り方を、運動場に描いたコースや簡易の信号機を活用し指導いただきました。



私が心に残ったのは、自転車の巻き込み事故のお話でした。「内輪差」という言葉は子どもたちには少し難しかったかもしれませんが、車の後輪がどんどん自分の方に近づいてくることがあるなどの体験をもとに左折する車に特に注意するよう指導いただきました。昨年度、丹波市では自転車で登校中の中学生が交通事故にあうという悲しい出来事があったところでした。小学校





でも関係機関や保護者の方々と協力し、子どもたちの発達段階に応じて自分の命は自分で守る交通安全指導を展開していかなければならないと考えています。

指導員の方々から「まわりに車が来ていないかよく見て」「青信号

号だからといって、右左を確認しないと危ないよ」「そうそう、前より上手くなってきた」など一人ひとりに声をかけていただき、子どもたちも一生懸命取り組みました。

最後に全員が修了証をいただき、みんな嬉しそうでした。今日の様子をお子さんから聞いていただき、ご家庭でもお子さんへの自転車指導をお願いいたします。